



えいなん

先日は、お忙しい中を個人懇談会に来ていただき、ありがとうございました。お子さんの学校での生活やご家庭での様子についてお話ができて、大変貴重な時間となりました。今後の支援につなげていきたいと思えます。

2学期も残すところ、1週間となりました。最後のまとめを行っています。よい締めくくりができるとういと考えております。今学期もさまざまなご支援ご協力、誠にありがとうございました。

人権講話の感想より

今日の朝礼では「人権講話第2弾」として「武器ではなく命の水を～中村哲～」という題で2016年にTV放映されたものを15分に縮めて、解説も加えながら子どもたちに見せました。下に、先週の人権講話の後、各学年の子どもたちが担任の先生と話したり、感想を書いたりしたものの抜粋を載せます。子どもたち一人一人がよく考えて発表したり、文章を書いてくれたりしました。

- ・ニュースでみました。
- ・おいしゃさんなのにいどを作ってはたけをゆたかにするってすごい。
- ・じぶんのことよりみんなのことをたいせつにしている中村てつさんは心にのこりました。
- ・じんけんとは、相手のことを考えることだと思った。中村さんはすごく考えていてやさしい。
- ・中村さんはアフガニスタンのいろいろな人と協力し合い、水や食べ物を作っていたのですごいなと思いました。
- ・中村さんはほかの国のために力をつくしたことがすごい人だと思いました。
- ・医師をやっていることだけでもすごいのに、医師に関係ない水不足までかいつし、そのしかたがいどを国のかたと協力して自分たちの力で作ったということがすごいと思います。ぶきよりも水が大切ということを行動でせつめいして世の中の人々の心を動かしたと思います。
- ・中村さんはてきもみかたもかんけいがないといえたのがすごいと思いました。この世界の人々がてきもみかたもかんけいなく、差別もなく生きていけるならいいと思いました。中村さんは人が人として生きるけんりをだいじにしたと思います。
- ・医者なのに、井戸を作って畑を作って緑を増やし、人がしっかり生活できるようにして、仲間やてきもみな安心してくらしてほしいと言っていたのですごくやさしい人だと思いました。しゅうげきをうけてなくなったときいてびっくりしました。けど、うった相手を死んでほしいなどは絶対に思っていないと思います。
- ・ぼくが人権について思ったことは、差別しないことです。これまで「人権とは何か」が難しくわからなかったけれど、思いやりということがわかりました。思いやりの気持ちをもつことはだれも差別しないことにつながると思います。それを知ったので、実行したいです。
- ・中村さんが先週の12月4日になくなってしまったことは悲しいです。村人たちも直せるようなやり方で人々を助けた（用水路を作った）ということは、村人に未来をつくったということだと思えます。

スクールガード会議



13日（金）にスクールガード会議を行いました。2学期も毎週水曜日の「付き添い見守り下校」に来てくださった方々に、お礼と感謝をお伝えしました。そして、3学期のスクールガード活動のお願いと日にちの調整を行いました。一番心配な1・2年生が安全に帰ることができるのは、この皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。